

平成 25 年度 第 1 回 計測技術等調査研究委員会 議事録

日時	2014-3-13 10:00~12:00	作成	伊藤	前回	—
場所	仏教伝道センタービル 3階『徳』の間				
出席者	出席：小西委員長、松原副委員長、村田委員、橋本委員、寺田委員、 庄司委員、小西委員、霜村委員、岡田委員、田中委員、 元木事務局長 欠席：中元委員 (順不同、敬称略)				
議事	1. 委員会の趣旨説明および今後の進め方について 2. その他				

議 事 内 容

元木事務局長より小西委員長の紹介があり、小西委員長より委員会名簿に基づき委員が紹介され、松原委員を副委員長にしたい旨の提案が承認された。その後、元木事務局長より各委員に委嘱状が渡され、小西委員長の挨拶の後、議事に入った。

1. 委員会の趣旨説明および今後の進め方について

(1) 第 1 回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)について

小西委員長より教育・研修検討委員会で議論してまとめた、第 1 回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)について説明があった。開催場所に関しては(公社)日本作業環境測定協会と検討していくが、全国規模で開催したいという希望があり、その場合は 2 日目の実習に関しては(一社)日本繊維状物質研究協会より人員を派遣することが確認された。委員より、1 日ずつの個別の受講は可能か、またその場合の費用についての質問があり、検討することとなった。

(2) 委員会趣旨について

小西委員長より計測技術等調査研究委員会の名称に『計測技術等』と『等』を入れたのは、保護具を含むためである旨の説明があった。

委員会として最初に行うことは、繊維状物質に係わる計測技術等の過去のもの整理することであり、そのためにできるだけ多くの文献を集め、国内外の計測等に係わる機器の変遷について調査していくことが確認された。また、調査の成果については論文にして、機関誌に載せることも併せて確認された。

(次ページへ)

(3) 今後の進め方について

小西委員長より対象は 繊維状物質、粉じん(粒子状物質)、ナノ粒子 であることが説明され、各委員に次の調査等を依頼し、次回以降に資料を提出してもらったこととなった。

① 霜村委員 (柴田科学株)

最も古い測定機器を販売していたと考えられるので、当時のカタログ等、測定機器に係わる過去の資料の収集について

② 田中委員 (株アイデック)、橋本委員 (株ニコンインステック)

海外における過去の計測技術等の情報収集について

③ 松原副委員長 (ニチアス株)

分散染色等、過去の分析技術に係わる資料の収集について

④ 村田委員 (早稲田大学理工学術院)

雑誌『労働科学』等における文献調査について

⑤ 小西委員長 (株エフアンドエーテクノロジー研究所)

JIS の K-3850 を作成した当時の文献について

また、今後の具体的な進め方として、①協会としてのメインテーマを決め、②各委員会ごとにサブテーマを作って、③協会の会員でもある工業会の方に講演してもらおう(どのようなものがどのように使われているか)等、委員会だけにとらわれずに協会全体として、調査・研究を進めていくことが確認された。

2. その他

(1) 第2回日本繊維状物質研究学術集会 開催のご案内(案)について

小西委員長より開催案内(案)について、昨年と同様に学術集会を開催するが、今回より展示出展の募集を行い、各メーカーに展示品を使用したプレゼンテーションの場を設ける旨の説明があり、承認された。

(2) 第2期年間スケジュール(案)について

小西委員長より第2期年間スケジュール(案)に基づいて各委員会の1年間の流れについて説明があった。また、『機関紙編集委員会』を『機関誌編集委員会』と『紙』から『誌』へ名称を変更したことが報告された。

(次ページへ)

(3) 次回委員会について

第2回委員会の日程調整を行い、技術研修会の前に開催することとなり、平成26年5月15日(木)15時から開催することとなり、場所は決まり次第連絡することとなった。

以上

【配布資料】

委員会名簿

第1回繊維状物質計測に係る技術研修会(案)

第2回日本繊維状物質研究学会 開催のご案内(案)

第2期年間スケジュール(案)